

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第1回川越市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和7年8月27日(水) 午後6時30分～午後8時15分
開 催 場 所	川越市役所本庁舎7階 7G会議室
議長(委員長・会長) 氏 名	会長 牛久保 努
出席者(委員) 氏名(人数)	金澤 勝 小松 正彦 秦 重美 眞下 英二 横田 等
欠席者(委員) 氏 名(人数)	山田 上 金井 進 上條 岳 高篠 昭夫(欠席 4人)
事務局職員 職・氏 名	部長 奥富 和也 課長 鍛冶 良知 副主幹 田中 宏明 主査 猪鼻 大樹 主査 保住 鈴大
会 議 次 第	1 開会 2 諮問 3 報告事項 (1) 令和6年度実施事業について (2) 第三次川越市スポーツ推進計画の概要及び進捗状況 4 協議事項 次期川越市スポーツ推進計画について (1) スポーツ施策の現状と課題について (2) 次期計画の体系について 5 その他 6 閉会
配 布 資 料	別添のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開 会 2 諮 問 第四次川越市スポーツ推進計画について（諮問） 第四次川越市スポーツ推進計画の策定に関する事項について、審議を求めた。 3 報告事項 （1）令和6年度実施事業について 資料1～4に基づき事務局から説明を行った。
委員	資料1について、ジュニアスキー教室は令和6年度に1回に減らしたとのことだが、令和7年度の予定はどうか。
事務局	引き続き1回を予定している。
委員	学校プール開放について、川越小と牛子小は休止、霞ヶ北小学校は20日間実施ということだが、これらの扱いの差は何か。
事務局	霞ヶ関北小学校は業務委託により長期間開放するものであり、有料で実施している。休止した川越小学校や牛子小学校でのプール開放は、各校数日間の開催で地域人材や市職員により無料で運営しているものである。
委員	業務委託を行えば他の学校でもプール開放をできるのではないか。 昔は夏季休業期間にどの学校でもプールの授業があったものだが今はない。せっかく地域に学校があるのだからうまく活用できれば良いのではと考える。
委員	運動公園のテニスコートは市内の利用者が少ないと聞くが、利用料金が他市に比べて安いことから、市外の利用者の流入が多いと考えられる。修繕や改修にかかる費用面を踏まえても、増額の見直しをした方が良い。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	資料４の補助金について、総合型地域スポーツクラブが２５万円をもらっているが、補助に相応しい団体・活動かということについて、しっかりと審査しているのか。
事務局	事前に事業計画や予算の提出、年度末に実施報告や決算書の提出をさせており、内容も確認をしている。
委員	事業の充実にあたっては、せっかく３０以上のスポーツ協会加盟団体があるのだから、そういう力を活用してほしい。また、時代の変化に合わせた事業の見直しは行ってほしい。事業報告では、１年先でもいいから将来を見据えた話を期待したい。
会長	数値の変化だけで終わらせずに、その実績を踏まえた見直しなども必要になってきていると思うので、ぜひとも意見を反映してほしい。
委員	ラジオ体操については、自治会の力を活用していると思うが、自治会も加入率低下や子ども会の解散など、様々な課題が出てきている。なるべく続けてほしい事業ではあるがどう考えるか。
事務局	ラジオ体操については、夏休み期間に１０日間以上実施した自治体に対して報奨金を支払うという形で支援をしている。 自治会の体制等により実施が難しいところが出てきていることは認識しているので、今後検討していきたい。 （２）第三次川越市スポーツ推進計画の概要及び進捗状況 第三次川越市スポーツ推進計画（概要版）及び資料５に基づき事務局から説明を行った。
委員	資料５の各種指標について、基本的に目標を達成しておらず、コロナの影響を意識せざるを得ないものとは考えている。 これをコロナ前に戻そうとするのか、現状を受け入れて新しい川越市のスポーツのあり方を模索するのか、現時点ではどのように考えるか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	コロナもそうであるが、スポーツ教室参加者数については雨天や気温など天候による中止の影響も大きくなってきており、御意見としていただいたとおり時代の変化もあるため、見直していく必要があると考えている。
委員	スポーツを週１回以上行う２０歳以上の市民の割合の指標は達成している一方、スポーツ教室や大会等の参加者数が達成していないということを見ると、スポーツは行っているが、昔のように教室という形態が必ずしも求められている訳ではないということのも１つの傾向と考えられる。
委員	施設利用に関する指標は川越運動公園スポーツ施設しかないが、川越市が管理している施設は他には何があるのか。
事務局	資料２で示した武道館や大東BMXスケートボードエリアがスポーツ振興課で所管している施設であり、その他都市計画部で管理しているなぐわし公園P i K O Aや各都市公園のテニスコート、産業観光部で管理している芳野台体育館がある。
会長	川越市内でスポーツができる場所は建屋のある施設だけではなく、グラウンドや河川敷も一定数存在している。こういった数字もあわせて、本当にスポーツを楽しんでいる市民がどれだけいるのかという実績を示してもらった方が良い。 河川敷のスポーツ施設についても課題があり、台風が来ると復旧までに数か月かかり、復旧費用も数千万掛かると聞いている。それであるならば、河川敷でない場所に恒常的に使用できるグラウンドを整備した方が効率的であるといった議論ができる。
委員	先日終わった高校野球は県内２２会場だったが、３５万都市である川越市には会場はなかった。近隣の施設は計画的に整備されている一方、初雁球場をはじめ、川越市の施設は老朽化対応に苦慮しているように思う。スポーツは施設がないと始まらないので、縦割り行政ではなく、横断的に議論ができる組織としてもらい、市全体で施設を見直してほしい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	4 協議事項 次期川越市スポーツ推進計画について (1) スポーツ施策の現状と課題について 資料6に基づき事務局から説明を行った。
委員	スポーツは大人になってから始めるという人は少数で、小中学生の時に親しむということが重要であると考えます。そのため、中学時代に部活がなくなるという流れはスポーツにとってはマイナスである。
委員	川越市スポーツ意識調査報告書の問29「なぜスポーツをしないのか」という問いについて、「時間がない」が29.2%となっているが、本音ではスポーツに興味がないということだと思います。 身近にスポーツを楽しめる場が必要というのはそのとおりだが、その前に自分のライフスタイルの中にスポーツが入ってこないという真の解決にならないのではと考える。そのためには、スポーツが自分たちの人生を豊かにするんだということをしっかり啓発していけるような仕組みにしていくことが、将来的に川越市のスポーツを豊かにする上で役に立つのではないかと。
委員	プロ・トップスポーツを呼べるような施設があれば、その活躍する姿を見て、子どもたちがスポーツに親しむという効果が生じる。既存施設の整備や修繕などを中心にした中途半端な計画とはせず、新たなスポーツ施設を作るという方向性を計画では示してほしい。
会長	財政状況を踏まえるとハードルは高いかもしれないが、交付金や事業債などを使用しながら、しっかりとした施設を作り、その施設をプロに年間通して使用させて、費用を回収するといった思い切った取組をしていく必要がある。
委員	(2) 次期計画の体系について 資料7に基づき事務局から説明を行った。 スポーツ基本計画、埼玉県スポーツ推進計画、川越市総合計画を踏ま

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	えて、体系的に作られているように思う。 先ほども申し上げたが、スポーツは人生を豊かにする良いものなのだというニュアンスを事業に落とし込んでもらえればなお良いと考える。 5 その他 第2回は10月中旬を予定しており、本日頂戴した意見を踏まえて、計画の体系を整理するとともに、施策のパッケージや指標について、審議をいただく予定である。詳細については改めて通知する。 6 閉会